

2017 年度 環境活動レポート エコアクション21

(活動期間 2017 年 4 月～2018 年 3 月)



株式会社 **ソネザキ**

作成：30年 4月20日

～目次～

1. 組織の概要及び対象範囲
2. 環境方針
3. 主な環境負荷の実績
4. 環境目標
5. 環境活動計画の取組結果と評価、次年度の取組内容
6. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価結果並びに違反、
訴訟等の有無
7. 代表者による全体の評価と見直しの結果

1、組織の概要及び対象範囲

1)組織の概要

- (1) 名称及び代表者名
株式会社ソネザキ
代表取締役 藤下 正幸
- (2) 所在地
本社 : 大阪府大阪市旭区新森7丁目4-25
事業所 : 大阪府守口市南寺方東通り4丁目7番4号
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
責任者: 森川 幸男
担当者: 瀧川 敬三
TEL: 06-6952-1236
- (4) 事業内容
一般廃棄物ならびに産業廃棄物の収集運搬
- (5) 事業の規模
法人設立年月日: 平成 3年8月26日
資本金: 1,000万円
売上高: 17,800万円
一般廃棄物運搬量: 4,383t 産業廃棄物運搬量: 35t

	本社	事業所	合計
従業員	5名	11名	16名
延べ床面積	80㎡	350㎡	430㎡

車種	台数	備考
6tパッカー車	4	プレス車
4tパッカー車	1	ロータリー
3.5tパッカー車	1	プレス車
2tトラック	2	
軽車両	2	
合計	10 台	

- (6) 事業年度: 4月～翌年3月

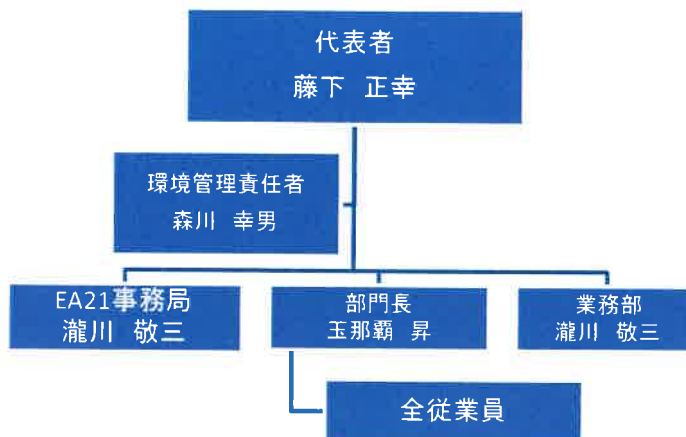
2)認証・登録の対象組織・活動

- 登録組織名: 株式会社ソネザキ
- 対象事業所
本社: 大阪府大阪市旭区新森7丁目4-25
対象: 大阪府守口市南寺方東通り4丁目7番4号
活動: 一般廃棄物ならびに産業廃棄物の収集運搬

許可・登録の内容

種類	発行者	許可番号	許可年月日 許可有効期限	産業廃棄物の種類												
				廃油	プラスチック類	金属くず	がれき類	木くず	紙くず	繊維くず	植物性残	ゴムくず	ガラスくず	記したものを		
一般廃棄物収集運搬業	大阪市	第007000号	平成30年4月1日 平成32年3月31日													
産業廃棄物収集運搬業	大阪府	第02700048123号	平成26年12月17日 平成31年12月16日	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
産業廃棄物収集運搬業	兵庫県	第02801048123号	平成25年12月10日 平成30年12月9日	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
古物商	大阪府公安委員会	第622290136080号	平成25年8月16日 —													

3) 実施体制図及び役割・責任・権限表



	役割・責任・権限
代表者(社長) 藤下 正幸	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営に関する統括責任 環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 環境管理責任者を任命 環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 環境目標・環境活動計画書を承認 代表者による全体の評価と見直しを実施 環境活動レポートの承認
環境管理責任者 森川 幸男	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムの構築、実施、管理、 環境関連法規等の取りまとめ票を承認 環境目標・環境活動計画書を確認 環境活動の取組結果を代表者へ報告・ 環境活動レポートの確認
EA21事務局 瀧川 敬三	<ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局 環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 環境目標・環境活動計画書原案の作成 環境活動の実績集計 環境関連法規等取りまとめ表の作成 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 環境活動レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)
部門長 玉那覇 昇	<ul style="list-style-type: none"> 自部門における環境経営システムの実施 自部門における環境方針の周知 自部門の従業員に対する教育訓練の実施 自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 特定された項目の手順書作成及び運用管理 自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成 テスト、訓練を実施、記録の作成 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
業務部 瀧川 敬三	<ul style="list-style-type: none"> 事務所の環境関連データ管理 廃棄物、リサイクルデータ管理
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> 環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

2、環境方針

基本理念

株式会社ソネザキは、廃棄物の収集運搬業務を通じて、循環型社会構築に向けて積極的に取り組み、地球環境及び地域環境の負荷を軽減し、持続可能な社会に貢献します。

環境方針

1. 廃棄物の削減
事業所から出る廃棄物を最小限にする努力を行うと同時に受託廃棄物リサイクル活動を推進する。
2. CO2 の削減
収集ルート効率化及びアイドリングストップに努め、消費燃料を抑えて、CO2 削減を推進する。
3. 省エネルギーの推進
水資源、電気、ガスなどのエネルギー使用を抑え、環境負荷低減に努める。
4. 社員教育
全社員に対して環境教育を実施して、環境負荷削減に努める。
5. 環境関連法規の遵守
環境関連法規・規則等の遵守に努めます。
6. グリーン購入の推進
環境に配慮した製品の使用量を高め、グリーン購入を実施します。
7. 環境改善の継続的取組
環境改善に関して短期～長期計画を定め、取組期間を過ぎれば、結果報告を行い、継続的な改善を推進します。
8. 社会貢献活動
社会貢献を積極的に行います。

制定：平成23年11月20日

改定：平成24年4月1日

株式会社ソネザキ
代表取締役 藤下 正幸

3、主な環境負荷の実績

項目	単位	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度
二酸化炭素排出量	kg-CO2	105,120	103,511	106,746	107,846
廃棄物排出量	kg	260	250	260	220
一般排出量	kg	260	250	260	220
産廃排出量	kg	0	0	0	0
水使用量	m ³	370	196	370	259

電力の CO2 排出係数=0.522 kg-CO2/KW h

4、環境目標

	2014年度	2017年度	2018年度	2019年度
	基準値(実績)	目標(3%削減)	目標(4%削減)	目標(5%削減)
電力の削減(KWh)	11,923	11,565	11,446	11,327
kg-CO2	6,224	6,037	5,975	5,913
ガソリンの削減(L)	743	721	713	706
軽油の削減(L)	37,027	35,916	35,546	35,176
kg-CO2	98,896	95,930	94,941	93,951
一般廃棄物の削減(kg)	260	252	250	247
水道水の削減(m ³)	370	359	355	352

	2014年度	2017年度	2018年度	2019年度
	基準値(実績)	目標(3%向上)	目標(4%向上)	目標(5%向上)
受託一般廃棄物のリサイクル量の向上(t)	918	946	955	964

	2014年度	2017年度	2018年度	2019年度
	基準値	目標	目標	目標
事務用品のグリーン購入	—	60%	70%	80%
取引先への環境配慮	毎月	毎月	毎月	毎月
社会貢献(清掃活動)	12回	12回	12回	12回

5. 環境活動計画の取組結果と評価、次年度の取組内容

	2014年	2017年			評価 ○達成 ×未達
	基準値	目標(基準値より3%削減)	実績	増減	
電力の削減(KWh)	11,923	11,565	11,496	69	○
kg-CO2	6,244	6,037	6,001	36	○
ガソリンの削減(L)	743	721	780	59	×
軽油の削減(L)	37,027	35,916	38,118	2,202	
kg-CO2	98,896	95,929	101,845	5,916	
一般廃棄物の削減(kg)	260	252	220	32	○
水道水の削減(m ³)	370	359	259	100	○

*電力の排出係数0.355kg-CO2/kWh

	2014年	2017年			評価 ○達成 ×未達
	基準値	目標(基準値より3%増)	実績	増減	
受託一般廃棄物のリサイクル量の向上(t)	918	946	811	135	×

	2014年	2017年			評価 ○達成 ×未達
	基準値(実績)	目標	実績	増減	
事務用品のグリーン購入	37%	60%	61%	1%	○
取引先への環境配慮	毎月	毎月	毎月	—	○
社会貢献(清掃活動)	12回	12回	12回	—	○

・貯水槽の設置



・定期清掃活動



・交通安全講習会



・グリーン購入(社用Yシャツ)



・ライフキャップ運動



0	環境目標項目	取り組み内容	取り組み評価	取り組み結果と評価	今後の取り組み
二酸化炭素排出量削減	電力の削減	空調温度管理の実施	○	今年度は、極力エアコンの使用を抑えた結果が現れました。	今後も徹底した取り組みに努めていきたい。
		退社時のコピー機ON/OFF	○		
		昼休み時間の電灯の消灯	○		
	自動車燃料の削減	車内エアコンの適正温度管理	○	運搬先の焼却工場が遠方になったのが結果が出させなかった一番の原因です。	環境局と交渉を重ね、近場の焼却工場へ運搬できるように努めます。
		急発進の禁止	○		
		法定速度の遵守	○		
		タイヤ空気圧の適正化	○		
廃棄物排出量削減	一般廃棄物の削減	リサイクル物の有効活用	○	リサイクルの関心が年々高まり、その活動が結果に表れました。	現在の取り組み内容を今後も徹底していきたい。
		梱包材の再利用	○		
		コピー用紙の裏面使用	○		
	受託一般廃棄物のリサイクル量の向上	排出先への分別依頼	○	ゴミの調査を行い分別が行き届いていないテナントに指導に行きました。	今後もさらに排出事業者に協力を求めている。
		選別の徹底	○		
		資源ゴミ回収先の開拓	○		
		古紙取扱徹底	○		
排水量の削減	水道水の削減	手洗い時の節水	○	日常的な取り組みが数字に出てきました。	引き続き活動を継続する。
		ホースリール、配管などの水漏れを点検	○		
		雨水の利用	○		
環境配慮資材購入	事務用品のグリーン購入	グリーン商品リスト掲載品を優先的に購入する。	○	グリーン購入率は増えた。	今後も意識的に購入を心掛ける。
環境配慮の促進	取引先への環境配慮	飲食街の美観、衛生面に配慮 マンションなど騒音を考慮した時間帯の調整	○	年々飲食街で、衛生面、景観上の問題がシビアになってきており、それに協力の形で向上的に取り組みました。	飲食街ではゴミ袋のまま排出しないよう、ペールボックスの使用を促す。
社会貢献	—	会社周辺の清掃	○	定期清掃の実施はおこなわれた。	ボトルキャップ回収箱を自動販売機横に設置を増やす
		ボトルキャップ回収の推進	○		

評価：○できた △あまりできなかった ×できなかった

6、環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価結果並びに違反、訴訟等の有無

当社の規制対象となる環境関連法令は、以下の通りである。遵守状況の評価の結果、環境関連法令の逸脱はありませんでした。また、関係当局より違反等の指摘は過去3年間ありません。

法律等の名称	主な該当する遵守／要求事項	判定
廃棄物処理法	許可、契約、マニフェスト、車両表示等	○
家電リサイクル法	洗濯機、冷蔵庫、冷凍庫、エアコン、テレビの廃棄時は家電リサイクル法に則って処理	○
自動車リサイクル法	使用済み自動車を適正に処理する	○
道路運送車両法	車両の大きさ、重量、通行の制限等を守る	○
道路法	通行の制限等を守る	○
道路交通法	積載物、安全運転管理者	○
自動車NOx・PM法 大阪府条例	車検証	○
フロン排出抑制法	エアコンの3ヶ月毎の簡易点検及び記録保存	○

7、代表者による全体の評価と見直しの結果

エコアクション21の取組も5年間が経過し、社内では浸透して、今年度の会社の環境目標もほぼ達成できました。しかし二酸化炭素の排出量の削減については、目標未達の結果となりましたが、原単位（処理量）当りの二酸化炭素排出量は2016年度より2017年度では、2%の削減ができており、活動は進んでおり継続していきます。更には、遠方の焼却工場より近場の焼却工場への搬入の取組も進めていきます。

以上